一議会により

2007年 11月 1日発行

編集:伊豆の国市 議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1 **☎**055-948-1417 FAX 055-948-2913



負けないぞ! (田京幼稚園)

9月定例会

一 般 質 問	2
委員会報告	8
議 案 —	12

韮山地区の特別養護 老人ホーム建設見通し





ため、

県は不採用の結果を出

年度内に二箇所計画した

しました。

今回

議員の<mark>問</mark>いと 行政の答え

当局の考え方をただしました。



建設候補地(山木地区)

新たな業者を選考し

階と聞きますが、 見通しについて伺います。 年以上が経過しており、

沢秀

次

は

会 計画した社会福祉法人 を県に推薦しました。 ら選考し、 涿

す。 屋の所有者及び利害関係地 軟弱個所が見つかり、 画の変更もあり遅れておりま 六月までに隣接する土地、 同意も得ました。 四 建設予定地の一部で地 月に地元説明会の開 七月にな 基本計 催 家

地区に社会福祉法人「大乗

が計画した案も、

業者が

伊豆の国市となって、

大仙

諮られ、 着工を目指す予定です。 ます。計画採択後に実施設計、 いただけるものと考えており 等を修正し、 計画審査終了後、 入札手続等を経て、 今後の見通しですが、 一〇月中には採択を 県の調整会議に 書類の不備 建設工事 基本

推薦して半 県の審査段

応募のあった二業者か 山木地区に 養

時から何回か浮上し、

諸

々の

問

地区の特別養護老

人ホームは、

韮山町の

事情で着工までに至りません

り、 る施設は耐震診断・補強工事

治体は、 る。 補助に上乗せを行っている自 係で補助金を出している。 建設の木造住宅に、 県は、 当市は、 今後検討したい。 昭和五六年五月以前 四市町と承知してい 電話相談窓口もあ 耐震工事関 県の

今後の計画を明確に。 る。子供たちを守る観点から 問 耐震性の劣る八施設は べて教育施設であ

援していきます。

ホームの整備を、

積極的に支

市としても、

特別養護老人

耐震補強工事に 市独自の補助金 屋 鋭

等に備え、 せ補助金を。 耐震補強工事に市独自の上乗 また、 設に対する耐震 大地震に備え、 市民への木造住宅 切迫する東海地 市 対 0

九月議会で、

教育施設

は。

を順次行う。 耐震性の劣る施設は八施 大規模災害時に拠点とな 当市は、 要な施設が一三八棟あ 耐震対策が必

治 施

作成予算を計上した。 えを早い時期に積極的に進 に並ぶ状況。 スポーツ施設予約改善を れている幼稚園の統合、 の全体的な建替え計 指摘さ

改善要望に応える必要あり。 先着順で早朝から窓口 スポーツ施設予約は、 市民からの強い

申請期間を設け、 順でなく、 起きている。 調整を行う形で試行している。 を確保する関係で特に問題が 球の出来る韮山野球場 学生の合宿で、 カ月毎に一 改善法は、 申請者間 硬式野 定の



あなたの家は大丈夫!?



公共

用地

I

あ

利

用建物に

う

LI

て 郎

般質問は13名が行い、

法は。 の具体的 寮と旧韮山 間 建 共 な 東幼 物で、 利 用

用

計

画

と処

理

稚園

0 日

今後

旧

1通家族

して認識して 財政改革の な検討を進めてい につい 利 重 用 主要項目 資産の おり、 ては、 ます。 本市 の一つと 有 部 効 具体 活 0 行 用

をお願い 東幼 す 年 しております。 として敷地全体の適正な管理 つきましては、 が、 兀 緯により、 指 月 稚園につきましても、 摘された旧 無償貸与し、 いしています。 から 暫定的ではありま ルバー 現 また、 在 合併前からの 日通家族寮に 人材セン その対価 有償貸与 旧 韮 Ш

市

財政に

け

助

金

運営につ

LI

7

居

松

彦

維持と考えております。 が 従っ 示されるまでの間 ある一定の方向 は しか 現状 性



地内にある未利

旧日通家族寮

す。 解体ということも考えられ 用を進めるに当たり、 しながら、 建 物 が 障害となるならば、 この資産の ご指摘 有効活 ま

> <u>の</u> 準とする。 の基準は公益上の必要性を基 の三区 奨する国 分に分類し、 玉 土交通

形骸化」 ものはどれほどか。 明 助金交付の目的や算定額の不 を置くべきだと考えるが、 派遣事業」 ル地区として、 観 い原因は。 確さ、 光ルネッサンス事業」 観光地域プロ 観光協会が進めてい について、 交付の長期化による の補助育成に力点 当 際観光地モデ 一市が指定さ デューサ また、 該当する 省 が推 補 そ 並 ĺ る

止を視野に入れて検討するも 判 断 0 O

れ

は、

3

廃

止

を視

17

る。

た補 ら 申 年度予算に反映すべく進め 趣 直し作業を継続 17 る。 れるものである。 旨 請 に該当すると思われるも から逸脱していると考え 目 助 五の補助金が該当して 原因としては、 金 的 以外に使用したり、 を既得権化 れ 検 討 よって見 平成二〇 したり、 す るも 度得

果 も 究等を育成、 めるべきものと考えている。 ので、 補助 団体の状況を見据えて決 金は、 公益性と、 特定 助長するため 0 補助 事業 0 研 効 0



願い 本指 固 たい 針 昨年 をもっているの ため、 助 金 八 の 月 効率的 どのような基 1 か な運営

説

統合」 2 継続 3 整 理 廃

天野公園の 有効利用について 大沢秀光

きてきます。 園です。 多数あります。素晴らしい公 年だけでは」と、惜しむ声 周 記念イベントが、「今 有志で行ったオープン 有効利用してこそ生 今後、 市として

> した。 今後の問題として、検討しま だったので、 いう声は聞いています。市は オープンイベントが好評 続けて欲しいと

思います。 市が応援する形がいいように 有志の皆さまが計画をし、

たいと考えています。 大仁中学校建設について 問

眞

びに大型車通行可能道路は。 改良、 工事車両の通行方法並

○台駐車可能 臨時駐車場として二六

る。 整池を設け、 も配慮し、 各グラウンドにそれぞれ調 改修は今後も考え 河川の護岸高に

ますか。

公園

が

備

はどのような企画をもってい

応する。 は、 を分離。 通学路と工事車両のルート 今後も考えていきたい。 大型車通行可能道路 地元優先で調整し対



体等が

?行うイ

ベントで、

ます。

市

民団 てい

て検討 や活用 意見 れて、

が

あ

り

様 整

々

な さ

維持管理方法

点につい

天野公園 (狩野川リバ

介護予防事業について

か。 設けて地域づくり・生きがい 運動の日常化を図り、 づくりに活用すべきではない の用意などをし、 象者・地域・回数等の拡充と 推進貯筋事業」 介護予防「高齢者運動 常設場所を ご褒美 は、 対

用許可·

を出

するもの

は

使

理規定に合致

を図ってい

有効

利

用

ンド設計変更や鍋沢川 大仁中学校第二グラウ

ヘルスアップ教室

ラスの実績となっている。 している。県下でもトップク ンティア育成勉強会等を実施 ロン立ち上げ支援、 健康は、 体操教室、 介護予防事業は、 いきい 活動ボラ きサ 地域

る。 市民憲章の制定について 通り充実させたいと考えてい 簡単な機械器具の活用、 とのかかわりが重要である。 ンを増やすことなど、 地域コミュニティ 質問の サロ

問 治基本条例の制定を 市民憲章および市民自

うことが望ましい。 の節目に記念として行

市民憲章は、

市制

施

行

は、 市民自治基本条例について 十分研究してみたい。

市営公園の芝生などの 適正な管理を 田 中正 男

要ではないか。 公園、 ①湯らっくす公園、 荒れている。 の場として利用されている。 냽 時代劇場などは、 園があり、 市内には二五ヵ所の公 適切な管理が必 市民の憩 城池親水 芝が

な状態。 地面に石が露出していて危険 ②時代劇場公園の遊具周りの ①芝生の部分的な閉鎖 管理はどのように。

芝生の養生を考えたい。 遊具の点検委託と草刈り等 理をして行く。現在の管理は、 ②危険な石は撤去し適正な管 を行い、目土等を施

していく。

指定管理者も情報公開対象に

的問題はないとのこと、今後

検討していく必要がある。

出して、 開させる制度。 社も情報公開の対象に。 市が資本金の全額を出資し、 に代わり行う指定管理者と を行う伊豆の国市土地開発公 市に代わり必要な土地の売買 行政機関が保有する情報を公 情報公開制度は、 公の施設の管理を市 知る権利に基づき 市が公金を支 国民



非核 平和 取り組みを 三好陽子

会は、 も積極的な取り組みをすべき る。 える動きがある中、 総会では、 ではないか。 を行った。平和憲法九条を変 る決議が毎年採択されてい 問 平成一七年九月に当市議 下から六二年目。 「核兵器廃絶平和宣言」 広島・長崎への原爆投 核兵器廃絶を求め 市として 国連

指定管理者の公共性

か

保有する情報の公

り、 教育の現場では、 に真の平和の実現に向け努力 にしている。学校教育・社会 ている。 一育成を目指した教育が行わ これを実現するための人 国境を越えた交流も大切 原水爆に関わる催しに メッセージを送った 今後も、 平和を希求 市民と共



契約希望者登録制度の

が必要ではないか。 え実施する運びとなったが、 のである。関係者の要望に応 規模な工事・修繕 多くの業者さんの参加を得 以下)を希望する方を登録し、 業者の受注機会を拡大するも い方を対象とし、 造 効果的なものにする努力 参加登録を行っていな この制度は、 市発注の小 (五〇万円 競争入札

開の実施機関とすることに法

る。

土地開発公社は、

情報公

開を推進していく必要があ

を育て上げていただきたい。 係者の皆さんの手でこの制度 細はこれから検討するが、 件である。 書類等の詳 関

問

D

小規模修繕等

実施にあたって

八月末の登録者は三二

救命率アップへ AED設置について 山下孝 志

り、 地域や学校では三分以上かか 向上のため公共施設や、 使うと救命率は七〇%。 (自動体外式除細動器) 現在の設置場所から遠い 生存率が下がる。 から、 心肺停止状態に陥って 三分以内にAE 救命率 しか 小 を

山支所・大仁支所に設 から伊豆長岡庁舎・韮 るため、 市民の健康と安全を守 平成一八年度

> 発したいと思います。 物語性のある観光ルー

中学校に設置の考えは。

す。 周 扱いはどうか。 A E D 操作の

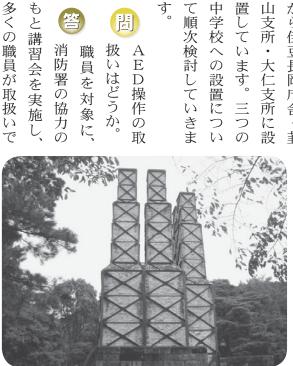
もと講習会を実施し 消防署の協力の 職員を対象に、

きるよう努力しています。

について 近代産業遺産群 (韮山反射炉)

は。 事業 内 容と市 0 役 割

期の技術導入の経緯を物語る ら認定される予定です。 遺産群」として経済産業省か 市の役割はないが、 歴史施設と連携させた を目的とした近代黎明韮山反射炉は、「海防 江川邸



韮山反射炉

乳幼児等の医療費助成の 対象年齢 の引き上げと **充実について**

藤 伊

策であり、 でしょうか。 しでも軽減できるのではない 子育て世帯の経済的負担を少 ほしいとの要望が多くありま 者から対象年齢を引き上げて 変喜ばれておりますが、 閰 子育て世代の声を受けと 積極的に取り組むべき施 での医療費無料化は大 現在の小学校入学前ま 少子化対策として 保護

すが、 増やしていくことで積極的に ていきたいです。 引き上げをとのことでありま してきたところであります。 力ある地域づくりを、 もを取り巻く環境の整備をし 対象年齢を小学校低学年まで 乳幼児医療費の無料化を実施 もう少し全般的な子ど 未就学児童を対象に 合併して活 人口を

> こういう問題を合わせて考え どもを産み育てる環境づくり 取り組んで行きたいので、 ております 多額の治療費がかかります。 上がってきており、 療も大きな問題として浮かび をしたいです。また、不妊治 これには 子



は。

軽自動車税の コンビニ納税について

平成一七年一〇月から

でしょうか。 向上につながるものではない 間 納税は、 軽自動車税のコンビニ 市民の利便性

等の電算環境の整備費用、 向上しますが、システム変更 が拡大し、納税者の利便性は 納付できる場所や時間 コンビニ収納導入は 収

おります。 分な調査検討が必要と考えて 納手数料の負担など、

静岡地方税滞納整理機構 について

菊

池

俊彦

造 構へ参加する市町 静岡地方税滞納整理機 の数

が参加する予定 県と県下四二の全市 町

岿 活用方法を機構に対 当市としてどのような

考えているのか。

質滞納・不動産などを 納税交渉に応じない悪

ものを機構に移管していく方 換価するしか徴収できない 針 の・大口滞納など徴収困難な 当市の現状に合った効率的

後検討を重ねていく予定。 また負担金の額は、 移管する件数は何件 か

な移管方法を、考えながら今

枠を確保している。 平成二〇・二一年度に ついては一五件の移管 負担額は

まだ十

定。 件当り二〇万円の処理件数割 で年間三一〇万円の負担予 基本負担額年間一〇万円と一

幼稚園・ 保育園の 建替えについて

固 た市内四幼稚園と一 耐 震強度に問題のあっ 保

を作成していきたい。





静岡県及び県内全市町が参加。 滞納整理事務、徴収業務、 研修 等を目的に設立される機構。 業務開始は、 20年4月を予定

か。

静岡地方税滞納整理機構とは?

り合わせの機会が偏ら 問 業種の登録数で、 地域のばらつきや同 見積 な

要であり、 ルや説明等に行政の指導が必 と思うが、 指す事が制度の成否に関わる また、 提出書類のマニュア 数多くの登録を目 行政の見解は

は に関して 育園の統廃合を含めた建替え 0 基本的な考え

る。 規模や配置について検討 数の将来の推計、 教育施設整備計画の中で児童 舎の建替えについては、今後、 え予定時期など具体的な 統廃合や耐震補強、 稚園 韮山! 西幼稚園ほか三幼 堀越保育園 施設の適正 建替 計 0 す 園 画

小規模修繕等の登録制度 土 につい 屋 源 由 7

る。

看護師が基準人員を確保

るため、

看護師の安定確保を

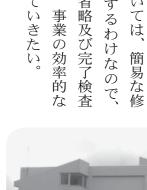
す。

度上最適と考えているので り合わせが出来ることが、 にある登録業者の中で見積も る場合には、 小規模修繕の必要があ その地区 制

書類提出の省略及び完了検査 繕・工事をするわけなので 執行を図っていきたい を簡略化し、 発注については、 事業の効率的な

ただきたい。

市内の業者に多く登録してい



伊豆保健医療センターに もので、 できず、 を減らして一時的に対応する 入院患者のベッド数 来春までを目途とし

ついて

思うが市の対応はどうするの を減らして運営すると聞いた 市民の要請に逆行すると 九月の後半から利用数 看護師不足の影響で、 ている。 働きやすい環境整備を理事会 に図っていく。

今後は、

関係機関と話し合

病院の施設整備や職員が

六〇床、 体制を九月二二日より実施す 院受入人数を制限し、 今回、 足のため、 予備病床八床にした 看護師の要員不 病院での入 病床を

り組み、

地域密着型の病院と

在宅まで幅広く地域医療に取

、予防から検診、診断、

治療

さらに、

地域住民と向き合

しての機能を継続、

充実させ

けないよう努力していく。 図ることで、市民に不便をか

狩野川につり橋を架ける 計画と堤防の整備について

松下善洋

豆長岡側につり橋を架 狩野川さくら公園と伊

けては。

な事業費が予想され を実施することにより、 事業の実施に向け、 々な分野における調査 莫大 様

が必要不可欠です。 認可や地域住民の理解 といった検証が必要に 事業の必要性や有効性 なるばかりでなく、 許

た上で進めるべきだと 業効果を充分検討 境が整った段階で、 さらに高まるなどの環 いう方向で考えていま つり橋に対する期待が 事

狩野川の堤防への 桜類の植栽について

いるが、 のか。 アーモンドの木が植栽されて まで九○○mの間に、 千歳橋から放水路入口 今後どのようにする

ますか。

桜などを植栽する計画はあり

所

から江間の境まで、

も管理等のご協力を仰いだ ん。 高 木の植栽は認めていませ 今後は、 相談をしながら進めてい はアーモンドのような 国土交通省では、 地域の皆さんに 現在

植栽は無理です。

宅等が並んでいることから、

走っていること、

内水側は住

あることと、

県道が堤防上を

では、暫定的な堤防で 樋管から江間との境ま





市民の理解の下に、

狩野川さくら公園付近

訂正とお詫び

げます。 第八号で誤りがありまし

た。訂正し、お詫び申し上 (誤) 現在の二〇分団 8 P 3 段目 瑾. 韮山七、大仁八) (長岡

現在の二〇分団 から、 韮山五、 大仁八

きます。

国土交通省墹之上出張

渡が予想より多く二三〇〇万

市税について

九年度補正予算の審査

総

務

委

員

会

マイナスで、

度を構築し、

人事評

価

能

力

八年度は部課長、

一九年度は

般職も含み試行導入して

評価の制度設計が出来た。

市民税は、

個人の不動産譲

9月定例会では、平成19年度補正予算や平成18年度決算などが上程されました。 4常任委員会に付託された議案は、それぞれ委員会で詳細に審査され、全て原案のと おり決し、本会議において可決承認されました。

兀 円強増収。 000万円。 調整基金は、 で九八〇〇万円程増収となっ 企業の大幅増額により、 〇〇〇万円ほど積み立て 万円となるよう、 家庭の貯金に当たる財政 積立残高は、 法人税は、 これらが今回の 市民一人当たり 約一九億八 今回二億 合計 つの

一実質単年度収支はマイナス 八年度決算の審査

万円徴収。

補正の主なものである。

七年度の 崩しなどを調整すると、 総額は一五七億三〇〇〇万円 ○○万円程である。 六五億九〇〇〇万円程、 般会計の歳入総額は、 差し引き額は八億六〇 繰越金・基金の取り しかし 実質 歳出 る。

単年度収支額は七五〇〇万円

温泉施設整備事業検討委員会

地域の代表等で行っている

が多く、 ある。 とができたため 間の窓口相談の結果 額は一二五万円程。 整理は一二日間行い、 臨時徴収は二人一班体制で一 殊事情のため余剰となる金額 ○万円程となった。 在者の後日の納付金額は三六 ○○万円となった。 〇三回行い、 三町の持ち寄り予算という特 市税の収納率向上努力 夜間訪問徴収は日常的に、 理由は、 多額を積み立てるこ 徴収額は約一 七年度は旧 集中滞納 土日・夜 訪問時不 一三七七 徴収金 五.

■浮橋地区温泉事業の検討

農業体験など浮橋地区を生か た温 市としては、 泉の利用を考えてい 健康づくりや

職員の人事管理

仕事をする目標管理制 職員が目標を立てて

六〇〇〇万円プラスと大差が 七年度の 兀 み 画を作り上げる。 体の承認を得た後、 画を検討中であり、 0 結論 県は、 排水計画の策定 は、 狩野川 九年度末の見込

八%減。 定。 I Р

用料金は、 八〇〇〇円が二二万四 このため、 月に六四 月額の利 万

二万四 ある。 ○○○円安くなり、 |〇〇〇円程度で 兀



市民を守る防犯パトロール車

に合わせた計画を策定する予 流域の配水計 当市はこれ 関係自治 正規の計

定である。

る。

二〇年度に完全導入の予

・電話の効果

灯

九・二%減 料金比較については、 一八・五%減、 P電話設置前と後の利用 大仁庁舎一三・ 韮山庁舎六 長岡庁

> |防犯パトロール車の効果 自転車盗難

と考えている が改善されてきた。 件数がワーストワンであった が県下で一万人あたりの発生 ロール車として貢献して が 当市は空き巣、 匹 四 機あり、 青色回! 防 犯 jς̈́ 1

福祉環境委員会

九年度補正予算の審査

民生費・衛生費等約四五〇

問 長岡 ○万円の追加である。 · 斎場維持管理事業 0

内訳は。 天井の落下などがあったた 答建設後二四年を経過し、 老朽化の調査をします。

問 簡易水道整備支援事業とは

業費を、 水道へ統合するための整備事 の二簡易水道組合が、 答韮山地区の坂本・太之田 二分の一補助するも 市営上

一八年度決算の審

のです。

一般会計

容としている。 公園管理・ごみ処理などを内 者支援・健康診査・環境保全・ 高齢者支援・生活保護・障害 支出済額約五五億円になる

のは <mark>間</mark>保護世帯が減少している

答母子家庭は増えているが、

と考えています。 今後も、 保護世帯が減少しています。 支援員さんの努力で、 自立する世帯が出てきたため 努力をしていきたい 働いて

今後の考えは。 敬老会の実施につい 7

効果として地域商業の活性化 老会は今後、 に役立てたいです。また、敬 答祝い金の商品券は、 日でやりたいと考えていま 会場一箇所で、 波 及

す。

地区敬老会

答要介護度3以上の方を、 問家族介護者慰労事業は。 問家族介護者慰労事業は。

在宅で介護されている方々の

開催し、 ました。 慰労や相談のために、 几 一名の参加があり 年二回

事業は。 問 高齢者タクシー 利 用助成

今後の計画は。

されました。 答対象者の三八一八人が交 付を受け、八三・七%が利用

れても、 ています。 民生委員さんが代わりに来ら また、ケアマネージャーや 年度途中でも交付し

内容は。 <mark>問</mark>社会福 祉協議会補助金 0

ます。 出しています。 ら、補助金は削減されていき 答一三名の人件費補助金を 報酬が伸びていることなどか 今後は、 介護

託の結果は、 間生ごみ堆 肥 成分等分析委

堆肥でおいしい野菜ができて 答おおむね良好です。 います。 留農薬も低い数値です。 の重金属や、 一番心配した残 問題 かり

問ごみ処理広域化計画策定

想の策定が行われたもの 進展が見られないが、 事業では、 基本計画と基本構 現状と の

うような行き違いになってし 月に、 いかにして聞くかということ ます。 政主体の説明会を計画してい まいました。今、地元の声を 絞りましたが、 してもらいました。 答一○人の委員さんに検討 地権者と接触しながら行 伊豆市堀切に候補地を 用地交渉とい 昨年の七

国民健康保険特別会計

であった。 歳出約五〇億八〇〇〇万円 歳入約五一億六○○○万円 実質収支額七七九三万円

険税公平性を期待したい。 診や予防活動等の展開と、 健康診断委託の成果は。 被保険者二万二一〇九人 高齢化に向かい、 基本健 保

けました。費用は三万九二〇 答 人間ドックを二八一人受

> 円です。 ○円ですが、 本人負担は一万

■老人保健特別会計

は。 て支払い基金が減っているの 数は、五五七一人であった。 間負担割合は、 ○○万円ほどとなり、 医療給付費は、三七億三〇 国庫が増え 受給者

めです。 かけて、 答 平成 法改正が行われたた 四年から一五年に

■介護保険特別会計

ね支出がまかなえた。 見直し、 保険料を月額三四〇〇円と 大幅増収となり、 概

や包括支援事業なども積極的 に行われた。 また、 新たな介護予防事業

里 委託したものです。 す。 別会計へ移行させたもの 配食サービス委託料は。 一般会計から介護保険 シルバー人材センターへ ぬくもりの里・いちごの で 特

観光建設委員会

九年度補正予算の審査

一般会計

果はどうなのか **問**イノシシ捕獲用罠を三基購 害復旧費一〇三三万五〇〇〇円 木費四四一六万二〇〇〇円・災 商工費八六一万六〇〇〇円・七 入するが三基で十分か、 農林業費一二万二〇〇〇円・ また効

に一基宛貸し出す。 面は韮山・長岡・大仁の猟友会 答猟友会にも保有があり、 当

例もある。 効果については、 捕獲した事

問観光情報センターの位置づ

けは。

が多いのか

待する。 情報発信基地としての利用を期 答伊豆の <mark>尚</mark>道路施設維持補修事業の舗装 国市の玄関口であり

ますが、 答五件~一○件程と考えており 何件程度を予定しているか。 要望に応じたいとの事ですが 補修工事費五〇〇万円は、 出来る限り多くの要望 地区

に応えていきたいと考えている。

■下水道事業特別会計

○円を追加し、歳入歳出の総額 歳出それぞれ一〇九二万三〇〇 000円 をそれぞれ一六億六一九二万三 歳入歳出予算の総額に、歳入

八年度決算の審査

般会計

四九万一六五五円。 費用対効果と、 三三一五円・土木費二四億八二 二九円・商工費四億五五二七万 農林業費二億二六六〇万七五 長岡北浴場維持管理事業の 利用者は観光客

倒的に多い。 把握してないが、 移している。観光客かどうかは 答収支としては若干黒字で推 三島・御殿場・沼津等の人が圧 市内の人より

 ζ 0 問有害鳥獣捕獲委託先の猟友会 会員が、 頭当たり幾らと褒賞金を出し 徹底的に取り組んだらどうか 捕獲意欲が出るよう

> ます。 もあります。 答褒賞金を出している自治体 に向かって、 来年度予算の策定 三猟友会と協議し

同じ都市計画区域内で統一する 答権限委譲で出てくるものを 議会では、何を協議しているか。 **問**田方広域都市計画区域連絡協

よう協議している

特別会計 ■楠木及び天野揚水場管理

鬥 業費六四七万一〇二一円 木・天野の揚水場の維持管理事 万 円。 前年度末残高と同額の三五〇〇 事費二三六〇万五〇五〇円と楠 三円で、管理基金の増減はなく 歳入総額五八七万七四五七 歳出総額三二四九万四〇七 楠木揚水場ポンプ取替工

■簡易水道等事業特別会計

年度比〇・四%の減

日平均配水量二万五七四二

七円、 <mark>間</mark>検針業務委託の件数は。 六〇円で、

> るのか。 も八五・六%ですが、 答年間六回で、二九八八件です。 四・四%について把握されてい 問有収率が一七・一八年度と

には漏水していると考えている。 答 一四・四%については、基本的 漏水等の修繕工事を一〇件ほ

ど実施している。

事二箇所(五一五・一五m)

各

施設の流量計設置工事等を実施。

^問滞納が多いが関連各部で

連

連絡を取り合い

所(一三八一・六八m)新設工

■下水道事業特別会計

引額七一二〇万五 越明許費繰越額五二九二万五八 九二九八円 五〇円・実質収支額 八二九円・歳出総額一六億四二 五万六六八一円・歳入歳出差 歳入総額一七億一三三六万一 一四八円・繰 八二七万

■上水道事業会計

八地区の簡易水道等に係る事業 歳入総額、 歳出総額三四四七万二〇 大仁地区の中山間地 三六一〇万二九〇 の減収 ㎡で前年度比五・八%の減。

水道事業収益

残りの一 ては、老朽管の布設替工事八箇 り、前年度比八・五%減となった。 に経費の節約に努めたこともあ 八四六二万一八三二円で総体的 資本的収支費用の支出におい 水道事業費用

(支出)

四億

はできないか。 答連携をとるような方法を考

答停止事例は、 えたいと思います。 **¹³給水を止めた事例はあるか。** あります。



下水道工事

文 教 委 員 会

九年度補正予算の審査

連事業について ■大仁中学校々舎建設関

標準断 事区間は一五○mで、 オープン式で床張りを打ちま 校地南側の鍋沢川の改修工 面 はブロック積みの 河川の

です。 的に十分クリア出来る施設で の下部に造る調整池は、 スカルバートで敷設する計画 橋を架ける場所は、 また、 第一 一グラウンド ボック 能力

の管理について |体育館や夜間照明 の鍵

社に委託することにしまし サービス課 ましたが、 の近隣の一 育館や夜間照明の鍵を、 大仁地区の三つの学校の体 般家庭に預けてい 大仁支所の市民 または、 警備会 学校

バ ■幼稚園、 スの借り上げについて 保育園における

そこで、 等を実施します。 バスを借り上げて、 は、 1 を利用していましたが、 の改正によりチャイルドシー が設置していないバスに 園の行事のときに、市バス 園児が乗車できません。 園行事を行う時は、 園外保育 法律

記念イベントの開催について ■中央図書館改修に伴う

子供や成人を対象としたお話 子を対象としたプラネタリウ 開催されます。 ム上映会を、二日間にわたり し会の開催。また、子供や親 改修記念イベントとして、

学校指導課 八年度決算の審査

に英語の指導助手を配置して ギリス人、韮山中学校にはア 17 事業では、 、ます。 外国人講師(ALT)派遣 長岡中学校には、 市内三つの中学校

■こども育成課

メリカ人、大仁中学校にはカ 圏から来ています。 ナダ人と、それぞれ違う英語

英語の授業等では、 校にも指導に回っています。 効果として大変な成果を上げ の発音が聞けるなど、 中学校を拠点にして、 生の英語 指導の 小学

> います。 です。 ない人を優先的に入室させて 学校一年生や、 は三五人、長岡北小は三〇人 待機児童については小 自宅に誰も居

■学校給食

しては、 アレルギー体質の子供に対 保護者から診断書を 提出してもらい 個

レルギー原因物質 別に面談を行い、

を ア ています。

Tによる英語の授 す。 分を差引いてありま は、 ギーの子供について を取っています。 取り除いた調理方法 また、牛乳アレル 給食費から牛乳

るし、保護者も注意 養士もチェック出来 をしております。 毎月の献立表で栄

中学校)

|社会教育課

た。

は、 青少年を対象とした研修で 静岡県青年の船と、東部

大仁小は各四〇人、大仁北小

長岡南小・韮山小・韮山南小

放課後児童教室の定員は

17 沼津市・三島市・ 方は、 海 生を対象に行なう研修で、 0 象とした研修で、 岡県青年の船は、 広域少年の船があります。 をいただいています。 人でした。 八年度の市 東部地区の関係市町の中学 道に七日間の研修を行な また、東部広域少年の船 市内の中学生は 市の青少年活動に協力 内の参加者 参加された 函南町など 青年層を対 平成 は 北 静

■図書館

加しました。

て、 として、また、 した。いずれも図書館の基本 座は三〇名で三回実施されま 業効果は高いものがありまし 方針に沿った事業であり、 図書館の利用促進事業とし 「絵本はともだち」を演題 読書ウィーク読書講演会 読み聞かせ講 事

第3回定例会は、9月3日から28日までの26日間の会期で行われ、専決処分の報告と承認・条例の制 定・一般会計および特別会計の補正予算・18年度の一般会計と特別会計決算・台風による災害復旧のた めの補正予算などが上程され、認定及び可決承認されました。

可決承認された議案一覧

- ・専決処分の報告及び承認について(平成19年度伊 豆の国市一般会計補正予算(第2号))
- ・郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整備に関す る条例の制定について
- ・政治倫理の確立のための伊豆の国市長の資産等の公 開に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 静岡地方税滞納整理機構の設置及び規約制定の協議 について
- ・伊豆の国市と沼津市との間の夜間救急医療に関する 事務の委託の廃止について
- ・市道路線の廃止について
- ・道路の路線の認定について
- 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関 係条例の整理に関する条例の制定について
- ・伊豆の国市立学校設置条例の一部を改正する条例の 制定について
- ・平成19年度伊豆の国市一般会計補正予算(第3号)
- ・平成19年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正 予算(第2号)
- ・平成19年度伊豆の国市老人保健特別会計補正予算 (第2号)
- ・平成19年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算 (第2号)
- ・平成19年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特 別会計補正予算(第1号)

- ・平成19年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計補 正予算(第1号)
 - ・平成19年度伊豆の国市下水道事業特別会計補正予 算(第1号)
 - ・平成18年度伊豆の国市一般会計歳入歳出決算の認 定について
 - ・平成18年度伊豆の国市国民健康保険特別会計歳入 歳出決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市老人保健特別会計歳入歳出 決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市介護保険特別会計歳入歳出 決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特 別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計歳 入歳出決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市下水道事業特別会計歳入歳 出決算の認定について
 - ・平成18年度伊豆の国市上水道事業会計決算の認定 について
 - ・平成18年度伊豆の国市土地管理特別会計歳入歳出 決算の認定について
 - ・平成19年度伊豆の国市一般会計補正予算(第4号)
 - ・平成19年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特 別会計補正予算(第2号)

定例会最終日(9月28日)、補正予算が上程された。 これは、会期中(9月6日)に襲来した台風9号によ る災害復旧のためのものです。

災害復旧費は、市道・林道・教育施設・倒木処理・ 粗大ごみや不燃物処理・庁舎など、8079万400 0円の追加です。



副委 委員 員 員 長 長

柳三水古鈴板田後 沢好口屋木垣中藤 亚

秀陽成鋭一紀正眞 次子男治郎夫男-

いが事 えたい 気に したは、 わ \mathbf{H} 気象による変更は珍口程の変更がありまし 型 税 行 れ れ 台風 税 0 なま 政 げ、 遭わ も 公平 るの 心 は、 す。 共 が け 九号 かられ 々 即 で性市の 、算会 効 民 急 果 お 福 0 0 を 時、 見 方 動 税 も 祉 上 対 まし め 力 0 評 0 げ 策 41 珍 源 11 価 た

た議

会 が 平 成 算は、

承

た予

算

結果

がため